



# F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

## 特集：能登半島地震・募金活動



2024年1月に能登半島地震が発災したことを受け、1月27日(土)と28日(日)に3時間ずつ、藤沢駅前で街頭募金活動を実施しました。

この募金活動は、藤沢市市民活動支援施設を管理・運営している「藤沢市民活動推進機構」が呼びかけをし、それに応えていただいた「藤沢災害救援ボランティアネットワーク(FSV)」さんと「ウクレレの会アパパネ」さん、そして、支援施設サポーター8名、総勢21名で実施しました。

今回のF-waveでは、募金活動にご参加いただいた皆さんに、募金活動のご感想を伺いました。

### 【支援施設サポーター：三嶋浩さん、和代さん】

報道を見て居ても立っても居られませんでした。募金集めに誘ってくれた事が嬉しかったです。自分で寄付する以外に、自分が寄付集めに協力できることが分かりました。みんな足を止めてご寄付いただき、純粋な人の気持ちが表れていて感激でした。

### 【支援施設サポーター：岡苑子さん】

初めて募金箱を持つ側ができました。小学生くらいのお子さんが自分のお小遣いから寄付してくださったり、自分よりもご年配の方から「寒い中大変ね、ご苦労様」と心遣いのお言葉をいただいたり、温かい気持ちでいっぱいになった3時間でした。

(つづく)





## 能登半島地震・募金活動



寄付を受け取るウクレレの会アパパネの大野さん

### 【ウクレレの会アパパネ：大野泰宏さん】

1月1日、故郷の福井から神奈川に戻る特急の中で地震があったことを知りました。同じ北陸出身だから何かやりたいと思っていたところ、今回の募金活動に巡り合いました。

募金の呼びかけは初めての参加です。最初はうまく声を出せませんでした。次第に慣れ、募金していただいた方々ともコミュニケーションをとりながら活動できました。

被災地で当事者の方々は、大変なご境地におかれていると存じますが、諦めずに乗り切ってくださいと願っております。

### 【ウクレレの会アパパネ / 支援施設サポーター：平澤亜希子さん】

今回初めて街頭募金の集める側を経験しました。意味と意思をお金に託して箱に入れてくださる通りがかりの人々、こういう気持ちを裏切らない活動をせねばと思いました。お一人お一人の寄付の金額が想像よりも多く、能登半島地震への世間の関心の高さが感じられました。

### 【支援施設サポーター：松村はるみさん】

支援金の寄付先の「ほくりくみらい基金」のHPを確認して、地域の市民団体の活動に直接生かす募金活動である事に共感し張り切って参加しました。寄付して下さった方々にもこの事をもっとわかりやすく伝わったらいいなと思いました。

寄付を多く集められたのは、やはり寄付を呼びかけるサポーターが多く参加して迫力があったからだと思います。

### 【藤沢災害救援ボランティアネットワーク：大田哲夫さん】

現時点(1月28日時点)では、被災地側のボランティア受入れ準備が整っていないため、被災現場に行って支援したいが行けない状況です。また、雪に慣れないので、今支援に行くこと逆に被災地の方々に迷惑をかけてしまいます。なので、今は「後方からの支援」に徹しています。

今、藤沢災害救援ボランティアネットワークでは後継者不足が課題です。やらないといけない事は増えていますが、人手が足りていません。今回の募金活動と同様に、「相手の目を見て感謝を伝える」活動を大切に、「また一緒に活動したい」と思っていただけ仲間を増やしていきたいです。

被災地のボランティア受入れ態勢が整ったら、各団体と連携してボランティア大勢で現地に行きたいと思っています。



藤沢災害救援ボランティアネットワーク理事長の大田さん

今回集まったご寄付は、支援施設に設置している募金箱のものと合わせて346,997円、全額、地元コミュニティ財団の「ほくりくみらい基金」を通じて石川県内での緊急・復旧・復興支援活動をされている団体に寄付いたしました。「炊き出し」、「物資の受入・提供」、「水源確保」、「上下水道の復旧までのシャワー提供」、「ブルーシートの張り出し」、「こどもの一時預かり・心のケア」、「相談受付、対応」などの活動に充てられています。今回の震災も、災害復興には時間がかかりそうです。今後も関心を持ち続けて継続的に支援をしていきたいですね。

### ■ほくりくみらい基金

災害支援基金ホームページ(募金もこちらから)

[https://hokuriku-mf.jp/news/r6noto\\_about/](https://hokuriku-mf.jp/news/r6noto_about/)

(取材・記事執筆：支援施設サポーター F-wave 班)



## 団体紹介

### 藤沢災害救援

ボランティアネットワーク(FSV)

設立:2006年10月

代表:大田哲夫

WEB:<https://fsv.fsvnet.com/>



### ウクレレの会アパパネ

設立:2019年4月

代表:平澤亜希子

WEB:<https://fujisawa-npo.jp/dantai/detail.php?id=21153>



## パソコンのご寄贈募集中

被災地での活動にパソコンは不可欠ですが、被災によりパソコンが壊れている・津波等で紛失していることが多くあります。

支援施設サポートクラブITサポーターのチームでは、皆様からご寄贈いただいたパソコンを再生し、被災地で活動する団体に寄贈しています。不要なパソコンがありましたら、市民活動推進センターまでご寄贈ください。

### <<寄贈可能なパソコン>>

・概ね5~6年前までに製造されたもの

・CPUがCorei3以上のもの

<https://itsupportfujisawa.jimdofree.com/パソコン再生/>



藤沢市市民活動支援施設では、毎年調査研究事業として、登録団体の皆様や市内のNPO法人の皆様を対象としたアンケート調査を実施しています。

2023年度の調査内容は2年おきに実施している定点調査「市民活動団体の活動状況調査」でした。本記事作成時点では調査報告書が完成間近という状況となっています。今回のNPOTIPSでは、2023年度調査の回答における特徴的な点について、ご紹介します。

### 年齢構成

今回調査においては、スタッフの中心的な年齢についての回答として、「70代以上」が45.5%と、非常に高い割合になりました。法人格を持たない団体に限ると50%を超えており、高齢化の影響が団体活動にも大きく影響しています。団体運営で抱えている課題としても「会員の年齢構成」が最も多く、「後継者」がそれに続くなど、今後の団体活動に向けて新規の会員の獲得や、活

動の中心となる人材の育成などが必要となっていることがわかりました。

### 他団体との協働

全体の70%以上が何らかの形で他団体との協働をした経験を持っており、特に法人格を持つ団体では全体の85%に及びました。協働相手は他の市民活動団体や行政がともに35%以上と多く、学校が24.2%、地縁団体（自治会・町内会等）が18.5%と続きました。

### SNSの利用

団体内の情報共有手段としてSNSをあげる割合が2年前の調査の28.9%から37.6%へと、大きく増加しました。その一方で団体外への情報発信手段としては23.6%から16.9%へと減少した上、団体の情報収集手段としては17.5%から5.6%へと大きく減少しています。

今回、対象団体数・回答団体数ともに、コロナ禍の真ただ中である2年前よ

り減少しています。新規会員を募集しないという団体が2年前の13.2%から9.6%へと減少していることから、メンバーの構成が硬直化している団体が、コロナ禍を経て少しずつ解散を選んできているのではないかと感じています。

もちろん、団体の解散についてもご相談を承っていますが、会員・ボランティア等の新規募集や広報など、お困りのことがありましたらぜひセンター・プラザまでご相談ください。



## 活躍する報告書作成のコツ

3月末が期末になる団体にとって、報告書作成の時期になりました。報告書は、1年間の活動をまとめ、関係者へ成果や効果を報告し、次年度への申し送りや次年度も含めた未来への予測などを伝える重要な資料です。助成金や補助金などを使った活動だけではなく、組織全体の活動実態がわかる資料です。

市民活動推進センター及び市民活動プラザむつあいでは、ご登録の更新の際、報告書の添付をお願いしています。その際に、報告書の記載内容について質問されることがあります。NPO法人の場合は、一定のフォーマットがありそれに沿って書き進めることで、迷うことは少ないのですが、任意団体の場合、特に決まった形式はありませんので、見ていただく関係者の皆様にわかるように書くとしか答えることはできません。

では、見ていただく関係者は誰でしょうか。会費をお支払いいただいているいわゆる「会員」、団体の活動に参加している「ボランティア」、資金を提供していただいている「助成団体や行政、寄付者、企業など」、団体活動の恩恵を受けている「受益者や受益地の関係者」など、書き出したらきりがありません。つまり、公益的な活動の関係者はとても広く存在することになります。その方たちに向けて報告するので、公益的な市民活動の活動情報は、公開する資料となります。特定非営利活動促進法もその論理の上に成り立っているので、団体情報は個人情報を除いて、公開が原則となっているのです。さて、話を戻しますが、「わかりやすい報告書の書き方」研修でお勧めしているコツをご紹介します。

### 1. 年間の動きが解るような総評(コメント)を入れる

- ・年度目標や活動目的への達成度や所感
- ・実施年度で発見できた課題や工夫

### 2. 視覚に訴える

- ・特徴的な数字の変化はグラフや図表などを使う
- ・写真も活用し、実際の動きのイメージを伝える

### 3. ことばは優しく丁寧に文字化する

- ・専門的用語は、注釈を入れる
- ・関連組織名や実施会場の記載は、正式名称を入れる(略称は注釈を入れる)
- ・できるだけ優しい言葉で構成する

報告書を丁寧にしっかり作成することで、内部の理解だけではなく、支援者獲得に向けた営業ツールにもなります。組織の悩みのトップ3(※)は、「人材」「資金」「情報」です。一度も参加していない市民に向けて、自組織の成果を報告するイメージで作成し、公表していくことで、組織への理解が深まり、共感や信頼を高めていくこととなります。

また、「アイデアは既存の要素の新しい組み合わせである」と言われています。「既存の要素」は報告書の中にしっかり埋め込み、どんどん活用していくことで新しい動きにチャレンジしていきましょう。「大切にしまっておく報告書」ではなく、「活躍する報告書」にシフトしませんか。(て)

※2023年度「市民活動団体の活動状況調査」より

なぜなに

NPO

vol.176





# 講座・イベントの

# ごあんない

イベント

日時

■第9回 外国人の日本語スピーチ大会 in 湘南台

2024年3月16日(土) 13:30~15:10

■ボランティアフォーラム 場づくり・人づくり・機会づくり

2024年3月24日(日) 10:00~12:00

■2024年度ロッカー利用団体募集(二次募集)

2024年3月31日(日) 締切

■情報誌「F-wave」の送付の一部電子化

2024年4月以降

NEW!

## 支援施設からのお知らせ

### ■第9回 外国人の日本語スピーチ大会 in 湘南台

藤沢に暮らす外国人のみなさんのお話を聞きに来ませんか。日本語を学んでいる生徒が自分たちの思いを地域の方々に語るスピーチ大会です。

日時：2024年3月16日(土) 13:30~15:10(開場：13:00)

会場：湘南台文化センター 市民シアター

料金：無料 対象：市民一般400名(先着順)

申込：不要(当日直接会場にお越しください)

共催：市民活動プラザむつあい・湘南台公民館(連携事業)



### ■ボランティアフォーラム 場づくり・人づくり・機会づくり

地域の人々が集まる・受け入れられる場や、参加しやすい機会づくりについて考えてみませんか?不登校の支援や、居場所づくりなど、抱える課題や属性問わず、安心して参加できる場についてお話を聞きます。

日時：2024年3月24日(日) 10:00~12:00

会場：藤沢市役所分庁舎 活動室

料金：無料 定員：30名

対象：藤沢市内で活動する市民活動団体、内容に興味関心のある個人

主催：藤沢市市民活動支援施設・藤沢市社会福祉協議会

申込・問合：市民活動推進センター



### ■2024年度ロッカー利用団体募集(二次募集)について

藤市民活動推進センター及び市民活動プラザむつあいでは、2024年4月1日(月)からロッカーを利用する団体を募集します。(ご利用は、月単位、最長1年(2025年3月末まで)です)

ロッカーを利用される団体の皆さんは忘れずにお申し込みください。また、現在ロッカーを使用されている団体は2024年3月31日(日)までにロッカー内の整理をして下さいますようよろしくお願い致します。

締切：2024年3月31日(日)

料金：センター(大) 400円×月(4,800円/年)

センター(小) 200円×月(2,400円/年)

プラザ 200円×月(2,400円/年)

対象：市民活動推進センター 登録団体

申込・問合：市民活動推進センター・市民活動プラザむつあい



### ■情報誌「F-wave」の送付の一部電子化について

平素より、当施設の運営へのご理解・ご協力誠にありがとうございます。当施設では、資源保護とカーボンニュートラルの観点からペーパーレス化をすすめております。2024年4月より、藤沢市市民活動支援施設の情報誌「F-wave」の送付につきまして、年次の登録更新を要するご登録団体を除き、主に県外などの遠隔地(県外のNPO支援施設等が対象となります)への送付方法を電子メールに変更いたします。対象となる皆様におかれましては、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

開始：2024年4月発送分より

問合：市民活動推進センター

発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00~22:00 火曜休館

※日・祝は9:00~20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F

TEL:0466-54-4510 FAX:0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00~17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX:0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております。サポーターも随時募集中です!